

国語科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- 読書時間を確保したり、読み聞かせをしたりする取り組みを通して、楽しんで読書する児童が増えてきつつある。
- 場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化に着目させることで、想像して読み進めることができる児童が増えてきている。

(2) 課題

- 既習の漢字が十分に定着しておらず、誤字や当て字、平仮名書きなど正しい表記で書くことが難しい児童が多いこと。
- 文や文章に対して苦手意識をもち、自分の意見や考えを書き表すことが難しい児童が多いこと。
- 日常的に読書に取り組む習慣がない児童が一定数おり、また読書の幅に偏りがある児童も多いこと。

2 観点ごとの実態・学習効果測定結果の分析

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
知識・技能	・大半の児童が平仮名の五十音を読むことができる。 ・多くの児童が、簡単な文章を音読することができる。 ・正しい筆順や字形で文字を書くことが難しい。	・大きな声で正しくすらすらと音読できる。 ・漢字の習得率が低く、既習漢字を正しく使って文章を書くことに難しさを感じている児童が多い。	・文章を書くことや既習の漢字を使うことに難しさを感じている児童が多数いる。 ・多くの児童が、言葉のまとまりを捉えて正しく音読できるが、苦手な児童も一部いる。	・目標値を上回っている。 ・漢字の読み書きは定着している。 ・主語と述語の理解が不十分である。	・目標値をやや下回っている。 ・既習の漢字の読みは目標値を上回っており、概ね定着している。 ・既習の漢字の書きは、目標値を大きく下回っており、定着が不十分である。	・目標値を上回っている。 ・既習の漢字の読みは定着しているが、熟語の書きの定着が不十分である。 ・情報と情報の関係について理解することに課題がある。
思考・判断・表現	・「いつ、どこで、だれと、なにをした」などを入れて、話したり書いたりすることができるようになってきた。 ・文章の内容について大まかにつかむことはできるが、文中の言葉の意味や人物の行動などを読み取り、正しく捉える事には課題がある。	・簡単な話題や内容であれば、メモをもとに話したり書いたりすることができる。 ・文章の内容の大体を捉えることはできるが、文章中の言葉の意味をとらえながら読む力には課題が見られる。	・相手に伝わるように話の構成や内容を考えることができるが、自信をもって話したり書いたりすることに課題がある児童が多い。 ・文章中の言葉を読み取って自分の考えをもち、表現することに課題がある。	・目標値を上回っている。 ・資料を読み考えたことを文章に書くことがほぼできている。 ・説明文における中心となる語や文を読み取ったり、要約して書いたり話したりすることに課題がある。	・目標値を下回っている。 ・事例を挙げながら、相手に伝わるように話す力が目標値に達していない。 ・大半の児童は段落の役割を理解して読み取ることができるが、構成を意識した文章を書くことに課題がある。	・目標値とほぼ等しい。 ・話し合いをもとに文章を書く能力が目標値に達していない。 ・資料から読み取った事実を筋道立てて文章を書いたり話したりすることに課題がある。
主体的に学習に取り組む態度	・平仮名の練習や音読劇などの活動に、楽しみながらすすんで取り組んでいる。 ・本に関心をもち、楽しんで読書をする児童が多く見られる。	・本への関心をもち、読書に親しんでいる。 ・漢字や音読の練習には、熱心に取り組んでいる。	・ほとんどの児童は本に関心をもち読書に親しむことができるが、読書の幅はあまり広くない。 ・新出漢字や言葉の練習に意欲的な児童が多く、熱心に取り組んでいるが、丁寧さに課題がある児童が一部見られる。	・物語文、説明文の内容を読み取る問題が共に目標値を上回っている。 ・読書に対する意識の高さは個人差が大きい。	・書くことに関する結果が目標値を下回っている。 ・読書に対する意欲が高い児童と低い児童の差が大きい。 ・文章を書くことに苦手意識があり、記述式の問題に取り組めない児童が一定数いる。	・主体的に学習に取り組む態度に関しては目標値を上回っている。互いの立場を明確にしながら話し合い考えをまとめることには意欲的に取り組む児童が多くいる。 ・読書に対する意欲が高い児童と低い児童の差が大きい。資料を読み取る力に差がある。

3 課題と授業の改善策

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
課 題	知識・ 技能	・字形や筆順を意識して、正しく文字を書くこと。 ・助詞（は、を、へ）や促音、長音、拗音等を正しい表記で書くこと。	・既習漢字を文や文章の中で使って書くこと。 ・助詞（は、を、へ）や促音、長音、拗音等を正しい表記で書くこと。	・筆順や部首を正しく覚え、マス目を意識してバランスよく文字を書くこと。	・日常的な文章に既習の漢字を使って書くこと。 ・文章中における主語・述語を理解すること。	・漢字の書き、言葉の基礎的な知識を定着させること。	・漢字や言葉の意味を正しく理解し、適切な活用をさせること。
	思考・ 判断・ 表現	・話に集中して聞いたり、文章の大体を捉えて読んだりすること。 ・自分の伝えたいことを、言葉や簡単な文章で表すこと。	・文章中の言葉をもとにして文章の内容を捉えること。 ・伝えたいことを明確にし、適切な言葉で表現すること。	・文章中の言葉をも手がかりにして文章の内容を捉えること。 ・伝えたい内容を整理して、言葉や文章に表すこと。	・叙述をもとに文章の内容や登場人物の心情の変化を捉えること。	・文章全体の要旨を把握し、自分の考えをまとめたり、要約したりすること。	・説明的文章や資料の要点を捉え、正確に事実を読み取ること。
	主体的 に学習 に取組 む態度	・日常的に、自分が伝えたいことを言葉や文で書こうとすること。 ・学習したことを生活の中で使おうとすること。	・既習漢字を使って書こうとすること。 ・習得した語彙を自分の生活の中に生かそうとすること。	・既習の漢字を正しく用いて分かりやすく文を書こうとすること。 ・幅広く読書をする事こと。	・既習の漢字を使い、積極的に自分の考えを書こうとすること。	・進んで読書をする事こと。 ・自分の考えを伝えるための語彙を増やそうとすること。	・事実をもとに話し合ったり自分の考えをまとめたりすること。
授 業 の 改 善 策	知識・ 技能	・平仮名・片仮名・漢字の練習や小テストを通して、文字を正しく書く力を習得させていく。 ・助詞や促音・長音・拗音等を正しく書けるように、短文作りやMIMを活用していく。	・短作文、小テストの学習などで、漢字や助詞等を正しく表記できるよう練習を重ねていく。 ・助詞や促音・長音・拗音等を正しく書けるように、短文作りやMIM等を活用していく。	・朝学習の時間を活用するなど、日頃から漢字の学習に取り組ませていく。 ・筆順や部首を意識させ、空書きやなぞり書きなどを通して、漢字の正しい字形を習得させていく。	・漢字小テストや国語の学習で文章を書く機会の確保をする。 ・伝えたいことを明確にし、自分の考えを書き表す機会を設定していく。	・漢字のきまり等を意識させながら漢字の練習を重ねていく。 ・辞書を使って意味調べをすることで言葉の意味を正しく理解したり、使える語彙の数を増やしたりしていく。	・朝学習の時間を活用し、漢字のきまり等を意識させながら漢字の練習を重ねていく。 ・辞書を使って意味調べをすることで、使える語彙の数を増やしていく。
	思考・ 判断・ 表現	・少人数での対話や話し合いを取り入れ、自分の考えを伝えたり、人の話を最後まで聞いたりする力を身に付けさせていく。 ・国語や生活科等の学習において、文章や言葉で表現する活動を積み重ねていく。	・文章を読み取る学習で、人物や場面の様子や説明の内容を正しく捉える力を身に付けさせていく。 ・伝えたいことを決める際に観点を示し、自分の思いに沿った内容を見付けられるようにしていく。	・様子を表す言葉や順序を表す言葉など、着目する言葉を意識して捉える力を身に付けさせていく。 ・「はじめ・なか・おわり」を常に意識し、自分の伝えたいことや考えたこと、感じたことなどを工夫して表現するように指導をする。	・接続語や文章中に繰り返している言葉に着目させ、内容の中心を捉えさせる。 ・「はじめ・なか・おわり」を常に意識し、自分の伝えたいことや考えたこと、感じたことなどを工夫して表現するように指導をする。	・文章全体の構成や段落相互の関係に注目して、読むことで文章の要旨を捉えさせる。 ・表現する技能が伸ばせるように、自分の考えを書くことを日常的に取り入れる。	・読む活動や書く活動において文章全体の段落構成などの既習事項をおさえながら活動させる。 ・表現する技能が伸ばせるように、毎日の日記や行事後の作文など自分の考えを書くことを日常的に取り入れる。
	主体的 に学習 に取組 む態度	・授業の導入を工夫し、学習に興味・関心をもたせ、すすんで活動する意欲を高める。 ・朝読書や図書の時間の読み聞かせ等を通して、読書への関心を高めていく。	・短作文などを書く活動において、既習漢字を用いて表記することへの意識付けをする。 ・習得した語彙を短作文などの中で用いて表現する意識付けを図り、語彙を増やす意欲を高める。	・文章を書く活動では、既習の漢字を用いて表記することへの意識付けをする。 ・季節の言葉を意識して俳句に表したり、読んだ本を紹介したりして様々な言葉に触れさせ、楽しさを味わわせる。	・文章を書く活動では、既習の漢字を用いて表記することを意識付けさせる。 ・おすすめの本を紹介する活動を通して、様々な本に触れさせ読書に対する意欲を高める。	・おすすめの本を伝えあう等の読書活動を通して、読書への興味や関心を高め、本に親しませる。 ・短歌や俳句作り、日常の短作文などの活動を通して語彙をふやす。	・少人数での対話や話し合いを取り入れ、自分の考えを表現するよさを味わわせる。